

2011年6月期 第2四半期決算説明資料

株式会社 マクロミル

証券コード: 東証1部 3730



1. 第2四半期のご報告

2011年6月期 第2四半期トピックス

売上高・利益ともに期初計画を上回り、業績予想を修正

- ・ 第2四半期、通期ともに業績予想を上方修正(2011年1月28日発表)
- ・ 上半期の連結売上高は77.5%増、経常利益は67.3%増(経常利益率は23%)

YVIとの経営統合は12月末をもって完了

- ・ 調査システム、人事制度、サービスメニュー等を1月より完全に一本化
- ・ ネットリサーチ事業の基盤を固めつつ、今後は新規事業にも注力

周辺サービスの推進、新規事業・海外事業への取り組みの加速

- ・ QPR事業の新会社設立完了、中国における連結子会社設立を決議

2011年6月期 第2四半期 決算概要

(単位:百万円)

	第2四半期会計期間 (10/1~12/31)			第2四半期累計期間 (7/1~12/31)			期初計画 ※業績修正前 (達成率)	
	12期	11期	前年同期比	12期	11期	前年同期比		
連結	売上高	3,435	1,777	193.3%	6,283	(注1)3,540	177.5%	5,821 (107.9%)
	経常利益	873	499	174.9%	1,455	866	168.0%	920 (158.2%)
	経常利益率	25.4%	28.1%	-	23.2%	24.5%	-	15.8% (+7.4pt)
	特別損益	162	-	-	255	-	-	243 -
	当期純利益	407	316	128.8%	690	588	117.3%	398 (177.4%)

※ご参考

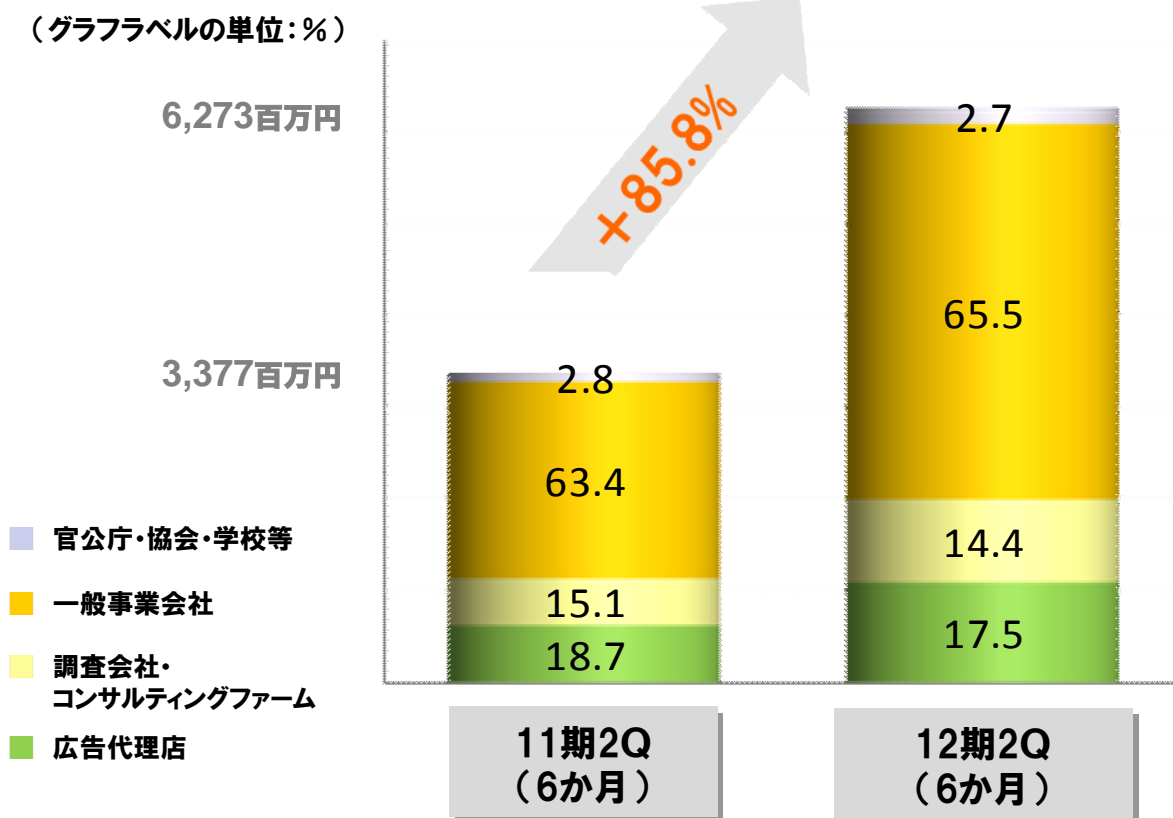
単体	売上高	3,432	1,753	195.8%	6,273	3,377	185.8%	
	(注2)売上高	3,432	2,971	115.5%	6,273	5,309	118.2%	
	経常利益	859	505	170.1%	1,434	930	154.2%	

(注1) 11期第1四半期の連結売上高には、連結子会社であったAIPの業績が含まれます。

(注2) 11期のマクロミル売上高に、YVIのリサーチ事業売上高を加えた数値で比較しております。

業種別売上高構成比(単体)

- ✓ 統合効果などにより、全ての業界において前年比プラス成長を実現
- ✓ 業界別の売上比率はほぼ変化ないが、代理店・調査コンサルの比率が1Qと比べて回復傾向



売上高伸長業界

(マクロミル前年同期、金額比)

1. 食料品・飲料

+95.2% +4.7億円

→QPRを軸に、引き続き消費財メーカーが好調

2. 広告代理店

+73.4% +4.6億円

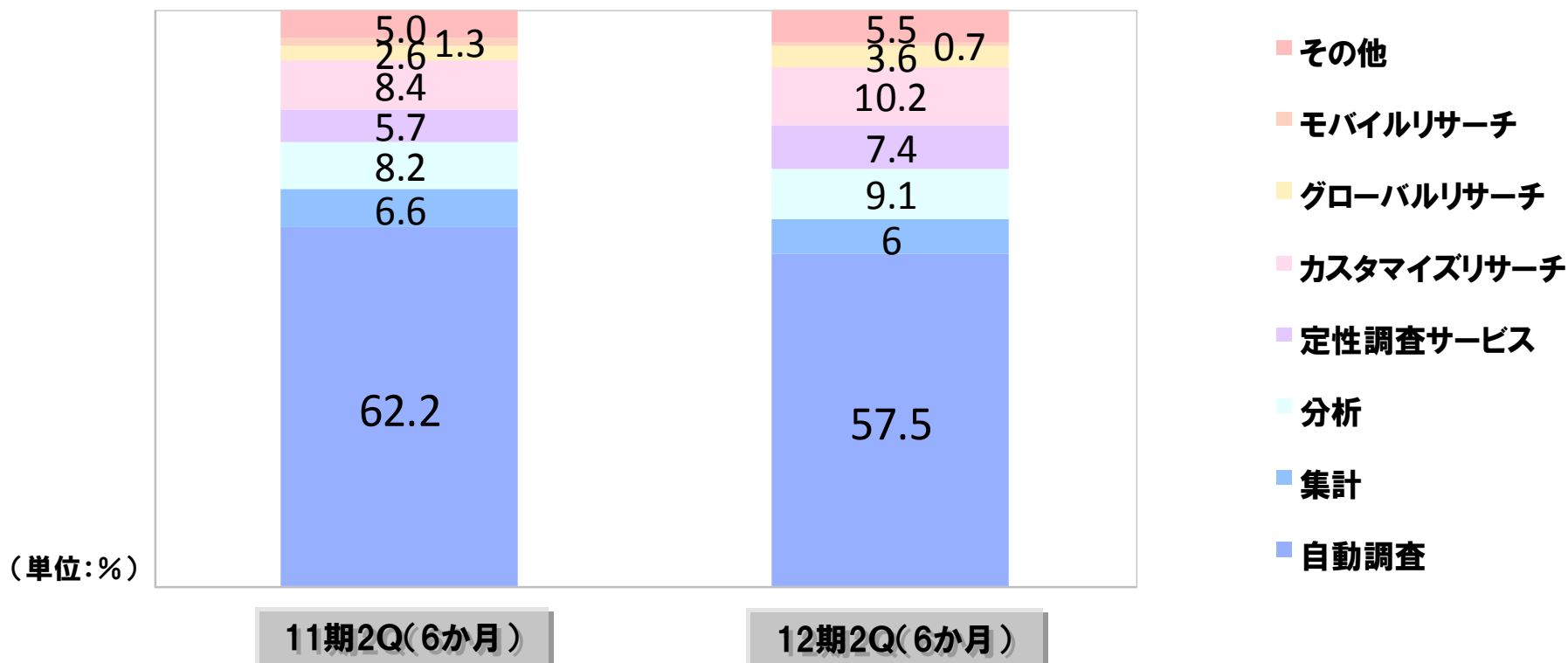
→広告代理店が回復

3. サービス

+106.1% +4.3億円

商品別売上構成の変化(単体)

- ✓ 顧客構成の変化に伴い、自動調査以外の商品売上高が増加
 - グローバルリサーチ 前年比 +157%
 - 定性調査サービス 前年比 +141% など
- ✓ 利益率の向上に向け、外注管理や内製化などを推進



その他(周辺)サービスについて

- ✓ QPR、bdb、AIRsMEMBERSの3商品で、前年比+66.6%を達成
- ✓ ブランドデータバンク株式会社の吸収合併を決議
4/1より一体となり、ネットリサーチ事業とデータベース事業の連携を強化



単価・稼働社数(窓口)・VIPの状況

指標	単位	2010年6月期				2011年6月期	
		1Q	2Q	3Q	4Q(通期)	1Q	2Q
Q毎 平均受注単価 (注1)	万円	72.8	70.3	72.9	70.0	79.7	82.2
Q毎 平均受注単価 (定性調査を1案件とカウント) (注1)	万円	71.2	68.3	71.1	68.5	77.3	79.1
Q毎 平均受注単価 (自動調査のみ)(注1)	万円	51.0	49.4	52.4	48.5	53.9	52.2
年間稼働社数 (注2)	社	659	995	1,270	1,441	904	1,386
年間稼働窓口数 (注2)	窓口	1,452	2,481	3,477	4,188	2,221	3,870
VIP社数 (注3)	社	151	144	155	144	242	240
うちQ平均1,000万円 (注4)以上売上高社数	社	(27)	(25)	(29)	(27)	(59)	(58)

(注1)2011年6月期の平均単価の算定には、旧YVIサービスは含んでおりません。従来の全体単価は、定性調査を案件数に含めずに算定しています。

(注2)各期累計表示です。期初から該当期間までに一度以上売上のあった社数/窓口数を表示しております。

(注3)各期累計表示です。年間100万円以上売上の顧客をVIPと定義しております。2Qは累計500万円以上売上の顧客数を記載しています。

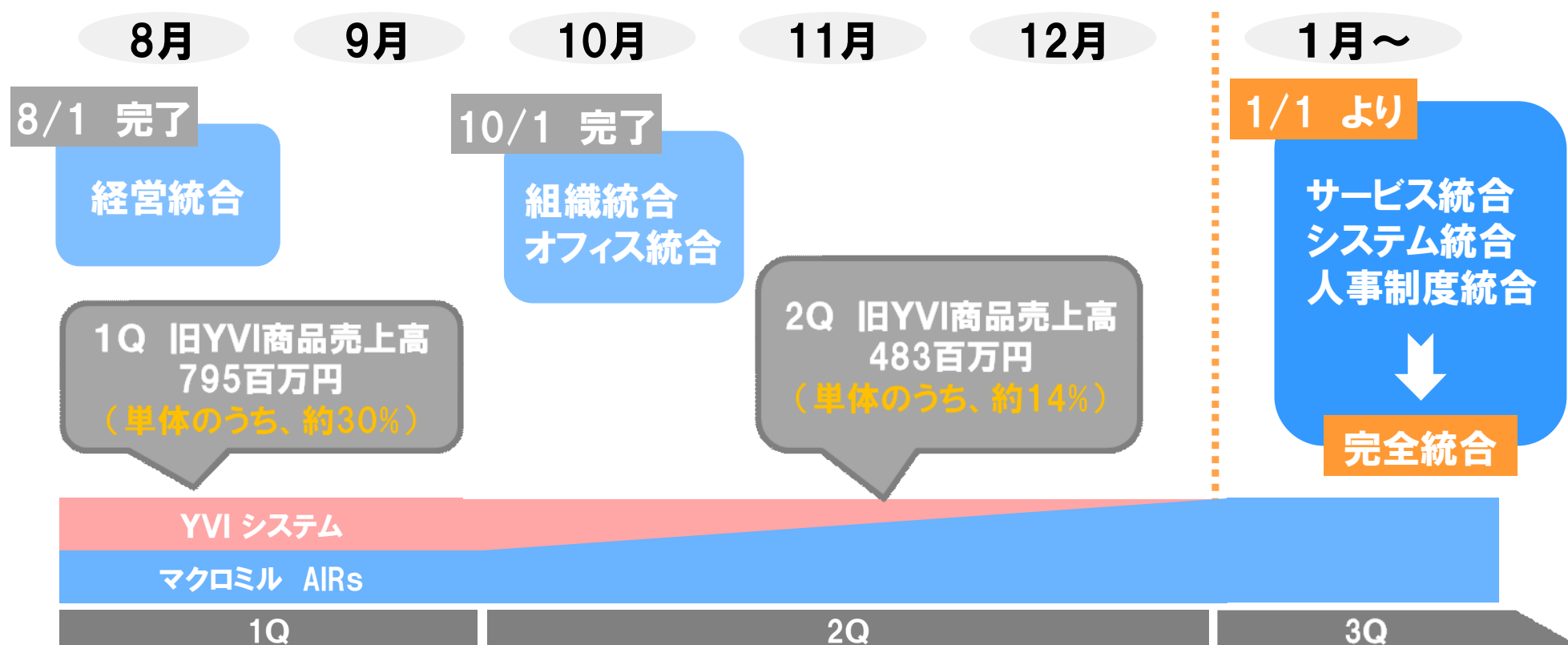
(注4)各期累計表示です。

✓ 「Q平均1,000万円以上売上高のある社数」を参考指標として追加

7

統合の進捗について

- ✓ 12月末をもって、すべての分野での統合が完了
- ✓ 3Q以降は旧YVI商品の売上高は発生せず



人員の統合状況について

指標	単位	2010年6月期				2011年6月期	
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	通期	第1四半期	第2四半期
従業員数 連結(注)	人	356	297	297	309	605	553
従業員数 単体(注)	人	295	288	289	298	596	542

(注)従業員数は休職者を除いて表記しております。

- ✓ 人員は減少。但し、営業・運用・リサーチャーの人数は大きな変動なし

営業
約125名

運用
約100名

リサーチャー
約130名

その他・・・

グローバル、新規事業開発、
モニタサポート、スタッフなど

※執行役員以上と休職者はカウントしておりません。
※2011年1月5日現在の人数です。

- ✓ AIRsへのシステム移行により、1人当たりの生産性は改善傾向
- ✓ 2011年4月の新卒入社は6名を予定

モニタの統合状況について

指標	単位	2010年6月期				2011年6月期	
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	通期	第1四半期	第2四半期
マクロミルモニタ	万人	87.4	88.7	90.3	92.6	94.0	100.2

✓ マクロミルモニタとボイスポート会員が統合し、100万人規模の自社モニタとなった。

PCモニタ



Yahoo!
リサーチ・モニター
約143万人

モバイルモニタ

パソコン+ケータイ併用モニタ



モバイル協力モニタ

約24万人

ケータイ専用モニタ



ミルモバモニタ

約6万人

ケータイ専用モニタ



Uchico中高生モニタ

約1万人

※モニタ数は2010年12月末現在の数値です。

統合に伴う費用の状況

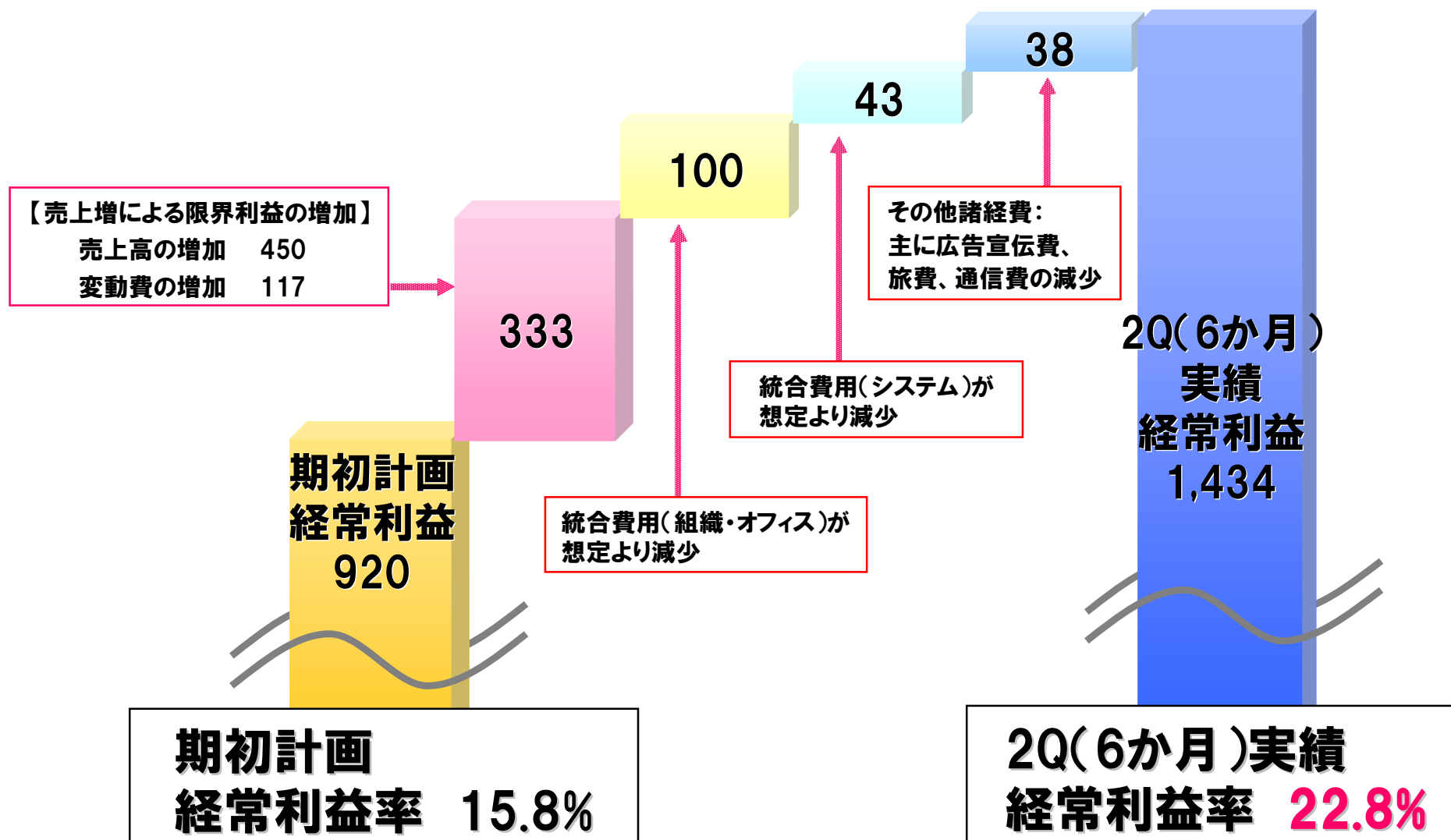
- ✓ 経営統合に伴う費用は想定内に着地。のれん、特別損失にて処理
- ✓ 特別損失(2.5億円) → 下半期は発生しない見込み
- ✓ 無形資産承継によるのれん償却費等(全体で7.6億円) → 年間0.4億円

(単位:百万円)

一時費用	2011年6月期 2Q実績	2011年6月期 通期見込
特別損失 (システム、オフィス、人員)	255	255
継続費用		
のれん償却 (4.3億円、20年償却)	9	20
顧客資産償却 (2.9億円、16年償却)	8	17
パネル資産償却 (0.4億円、9年償却)	2	4
その他費用の増加 (主にシステム関連)	16	56
継続費用小計	35	97
費用合計	290	352

2Q(6か月)利益増加要因 (単体)

(単位:百万円)



2. 通期業績見通しと資本政策について

通期の業績見通しについて

(単位:百万円)

		1-2Q実績	3-4Q見込	通期見込	前期実績 (通期見込÷前期実績)	期初計画 (通期見込÷前期実績)
連結	売上高	6,283	6,709	12,992	7,353 (176.7%)	12,530 (103.7%)
	経常利益	1,455	1,584	3,039	2,135 (142.3%)	2,506 (121.3%)
	経常利益率	23.1%	23.6%	23.4%	29.0% (▲5.6pt)	20.0% (+3.4pt)
	当期純利益	690	904	1,594	1,266 (125.8%)	1,304 (122.2%)
	1株当たり 当期純利益(円)	4,557.22	(注) 5,898.78	(注) 10,456.00	10,182.23 (102.7%)	8,516.51 (122.8%)

(注)株式分割前の株数に換算しております。

※ご参考

単 体	売上高			12,981	7,172 (181.0%)	12,530 (103.6%)
	経常利益			3,145	2,205 (142.6%)	2,631 (119.5%)

- ✓ 上半期は業績好調に加えて、統合作業が順調に推移し収益拡大
- ✓ 通期見込は、上半期修正を加味して上方修正

下期見通し(単体)の前提について

外部環境の認識

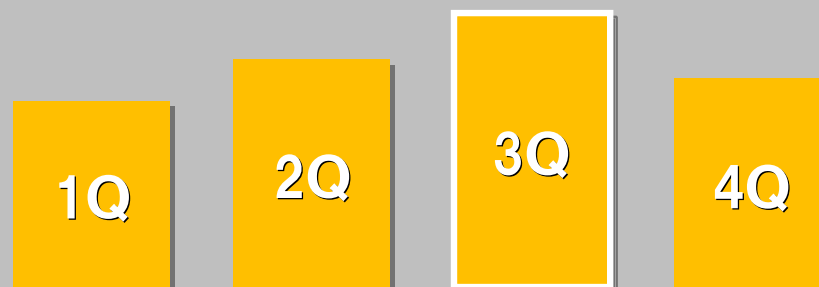
- 国内の景気は下期も良好
- 国内企業は積極的に海外進出

当社の対応

- 良好な景気を背景にQPRなどを軸にネットリサーチを推進
- 高単価案件の受注などもすすめ、案件単価を維持(80万円程度)
- 顧客のニーズに対応しグローバル調査や定性調査を伸長
- 経営統合が完了し、生産性の向上にも注力

- ✓ 足元の需要は一般消費財メーカー中心に堅調
- ✓ 前年同期比売上高**10%**の伸長を前提

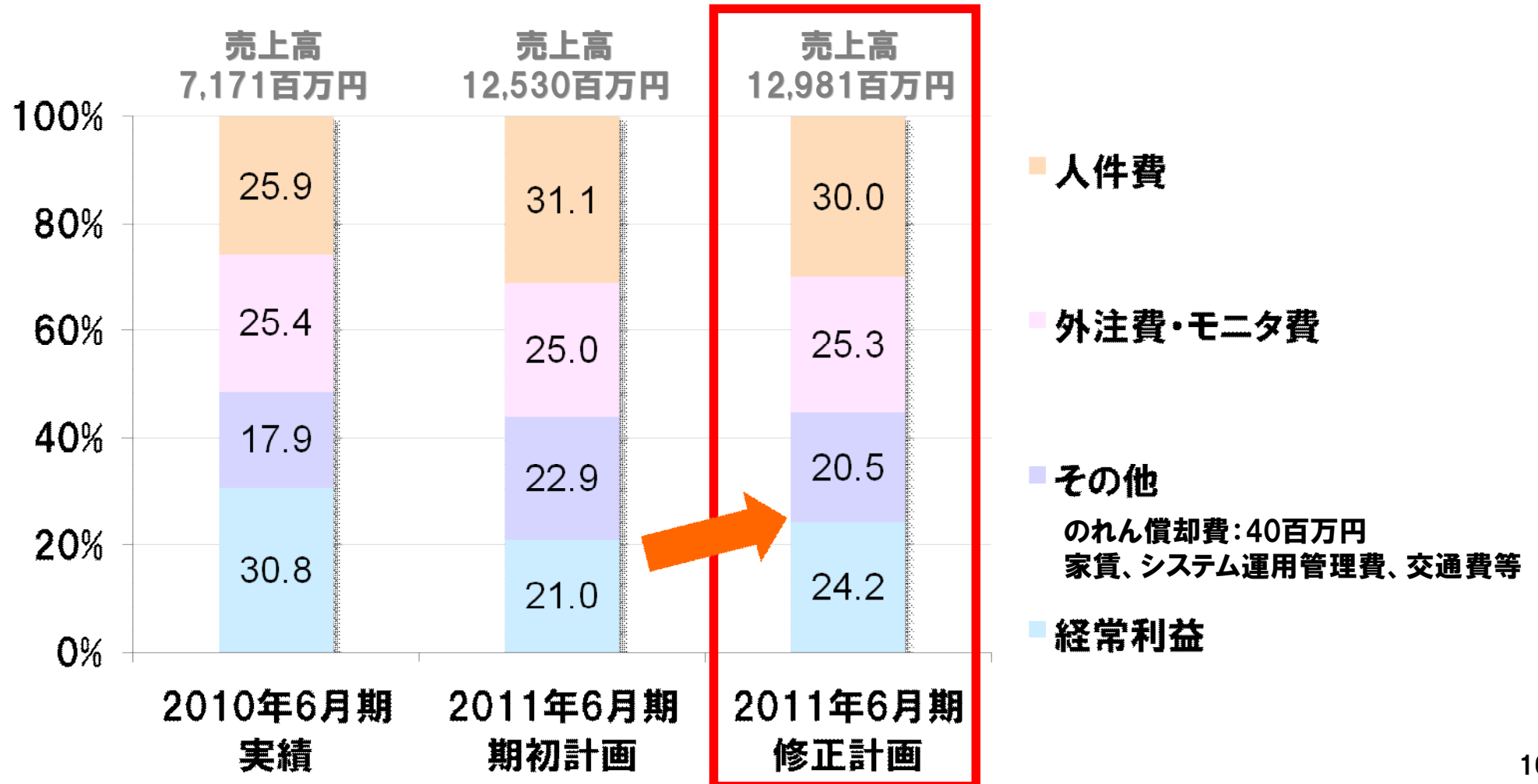
過去のQ毎売上高トレンドイメージ



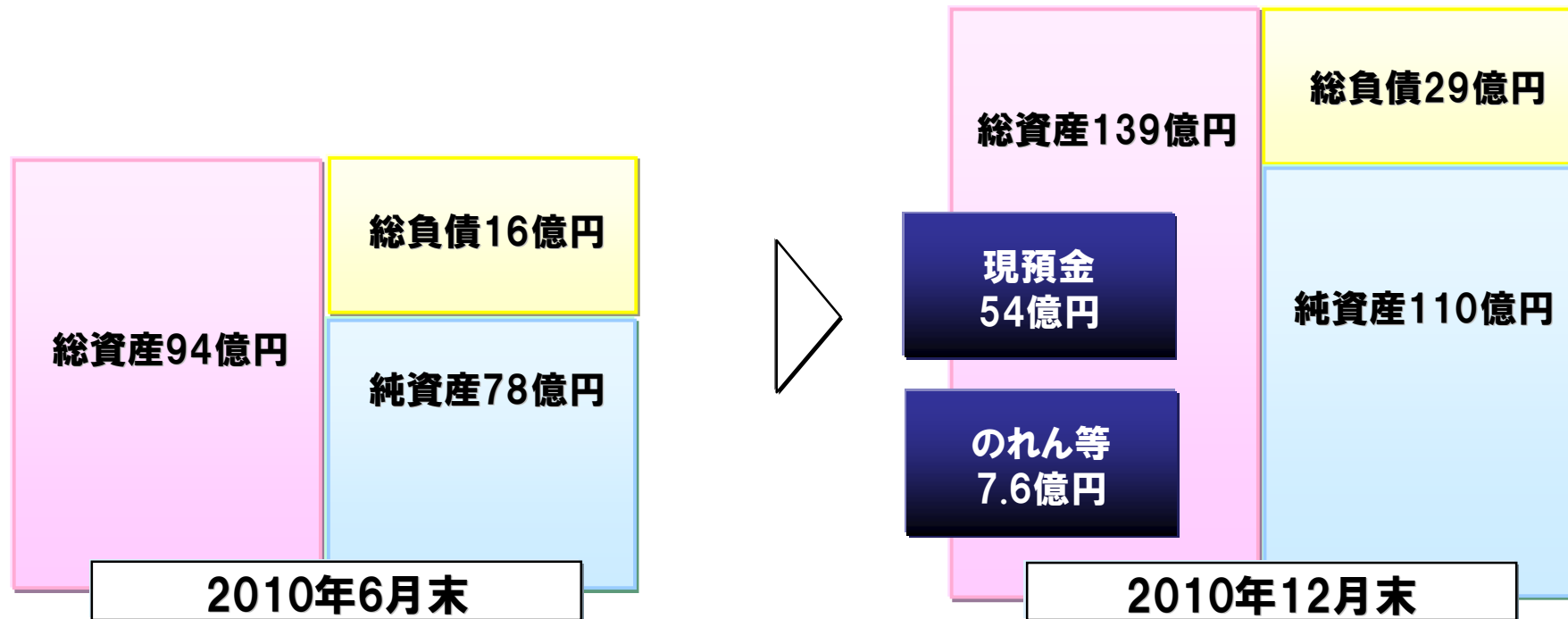
3月が最大の山場

費用構造の変化について(単体)

- ✓ 統合による人員増、オフィス増床などにより、費用構造が変化
- ✓ 売上高の上ぶれ・費用削減により、期初計画と比べ利益が改善



バランスシートの推移



統合により、現預金は54億円となった

新規事業への投資
海外展開の加速
将来的にはM & Aも検討

資本政策について①

「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」（11月12日発表）

⇒ 5,000株、10億円を上限として、自己株式の取得を決議

◆ 自己株式の取得結果(信託買付方式)

	取得株式数	取得価格の総額
11月	1,299株	197,873,700円
12月	898株	156,709,100円
1月	(注1) 803株	160,084,500円
総計	(注2) 3,000株	514,667,300円

(注1)株式分割前に換算。実際は160,600株となります。

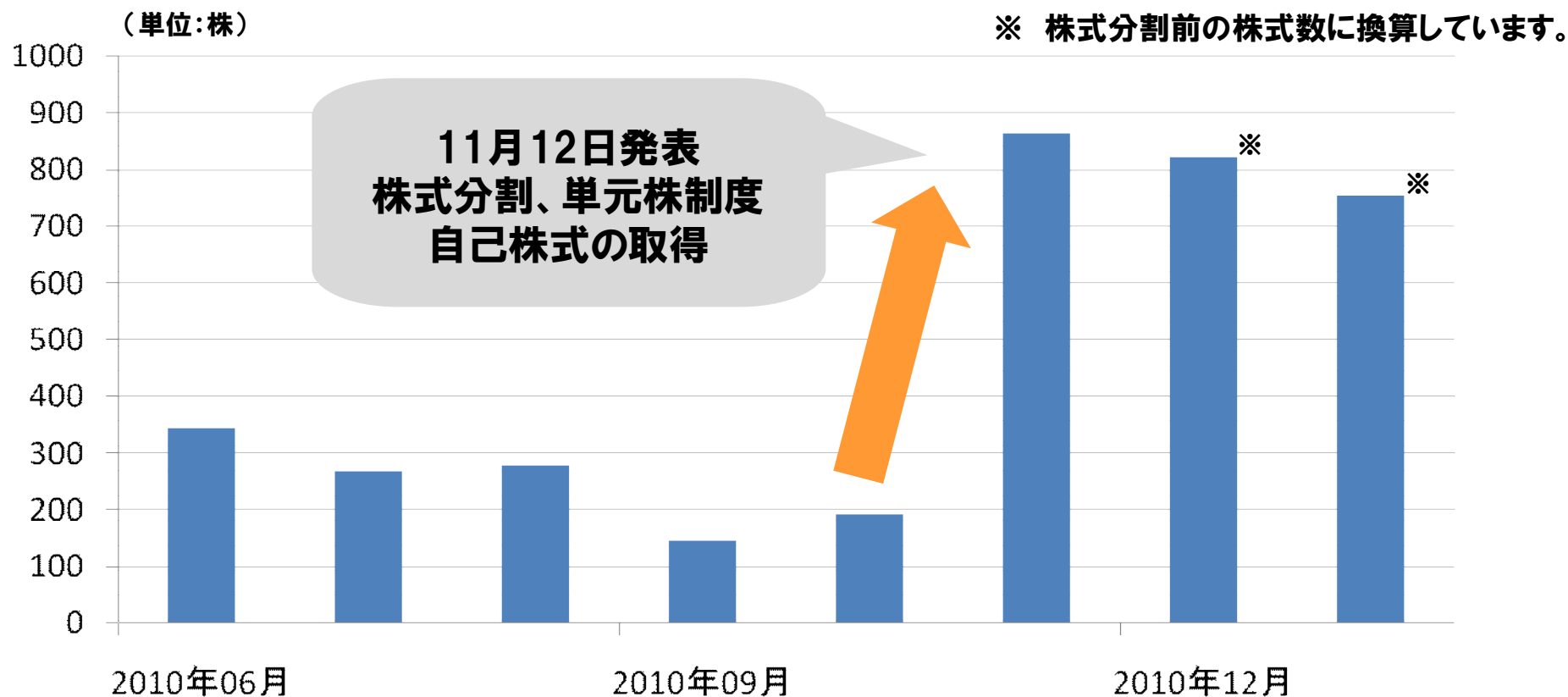
(注2)株式分割前の株式数に換算しております。

- ✓ 経営環境の変化等を勘案し、1月末をもって自己株式の取得を終了
- ✓ 保有自己株式の累計は9,026株となった（1月末時点、株式分割前に換算）

資本政策について②

- ✓ 株式分割等を発表後、11月以降の流動性は大きく改善
- ✓ 更なる流動性の向上を狙い、今後は国内のみならず海外投資家層の拡充も目指す

1日当たり売買株式数

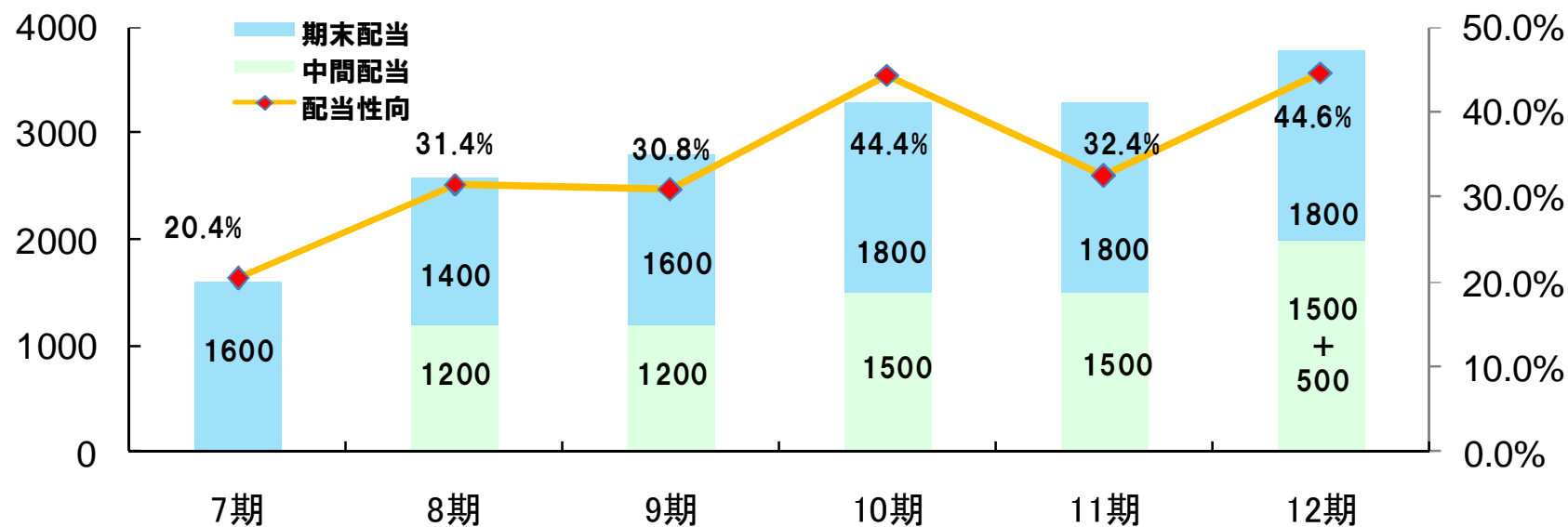


資本政策について③

- ✓ 連結配当性向30%以上を今後も継続
- ✓ 第12期年間配当は3,800円、配当性向44.6%※の見込み
 中間配当2,000円(記念配当500円を含む)を決議
※記念配当を除くと33.5%となります。
- ✓ 運転資金を保ちつつ、事業の拡大・成長のために投下してゆく方針

◆配当実績と今期の配当見込み

(単位:円)



3. 今後の事業展開について

新規・海外事業トピックス

QPR事業の新会社として、 「株式会社エムキューブアンドアソシエイツ」設立

- ・ 博報堂DYホールディングス、東急エージェンシーと共同で新会社を設立
- ・ 消費者購買データ「QPR」のデファクトスタンダード化を狙う

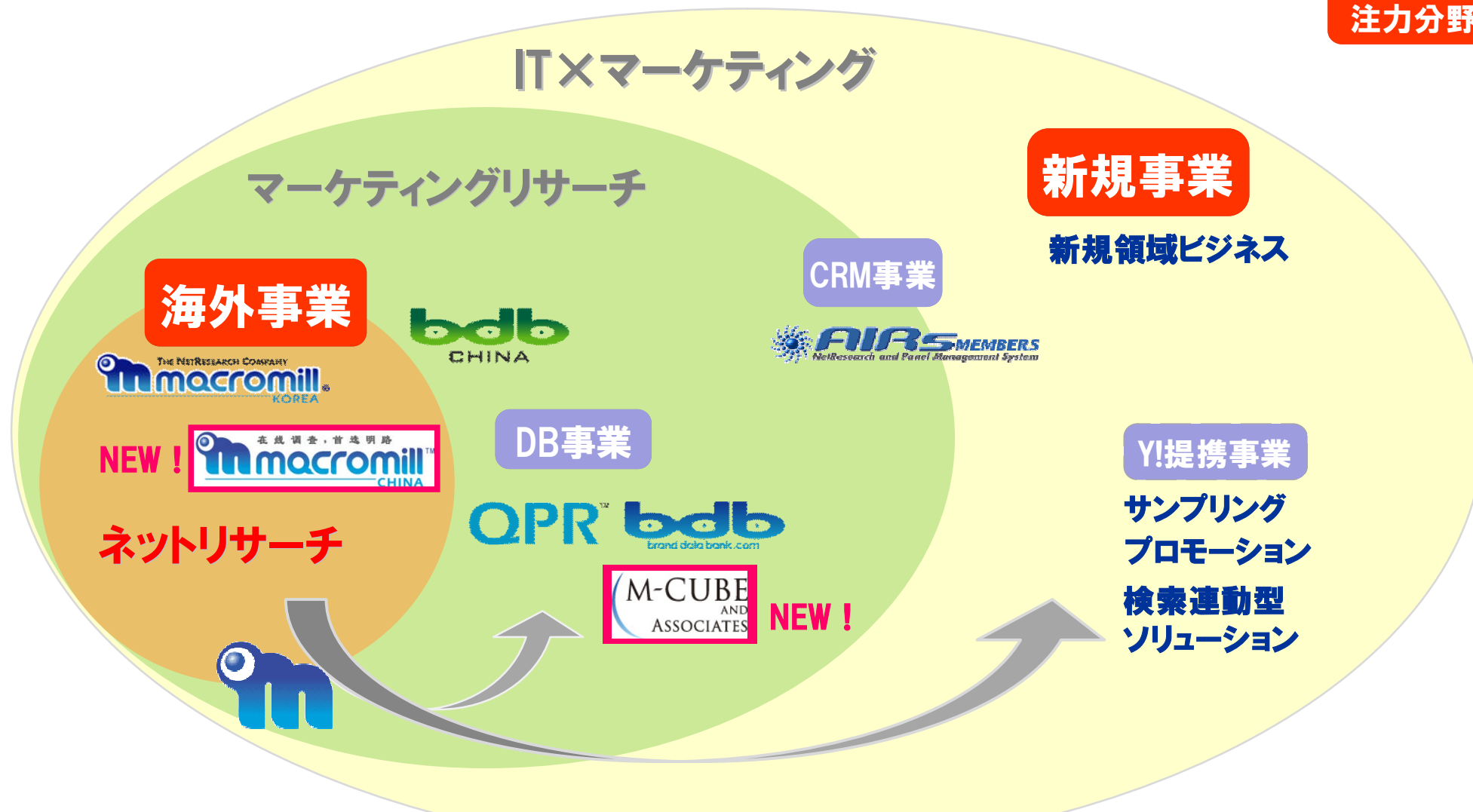
中国における連結子会社「マクロミルチャイナ」設立を決議

- ・ マクロミルは90%を出資し、2011年3月設立を予定
- ・ 海外のグループ会社は、韓国に続き2社目となる

マクロミル独自の新規事業を引き続き検討

マクロミルの事業領域

注力分野



✓ ネットリサーチを軸に、IT×マーケティングの領域で事業を拡大

QPR事業の新会社設立について

✓ 3社の共同出資企業として、「株式会社エムキューブアンドアソシエイツ」を設立

✓ 今後も戦略的に出資を募り、出資企業は増加予定

最終合意: 株式会社マツキャン・ワールドグループ ホールディングス、株式会社ビデオリサーチ

基本合意: 凸版印刷株式会社

現在の株主構成

(2011年2月14日時点)



81.875%

Hakuhodo DY holdings

15%



3.125%

ビジネスモデル



QPR(キューピーアール:Quick Purchase Report)™

...

消費者の日々の購買動向を捉える商品購買調査サービス。
QPRモニタに携帯型バーコードスキャナーを配布し、購買動向データを収集。
購入理由などの意識調査も一貫して提供。

マクロミル 코리아について

2011年6月期2Qの状況



売上高(6か月)	2.3億円 (通期目標:4.7億円)
従業員数	25名
パネル数	25.0万人

※持分法適用会社(38.5%)

業績が堅調に推移し、2010年10月より黒字化

【今後の方向性】

- ✓ 現地法人の黒字化により、今後も継続的な収益を確保
- ✓ 地場有力企業との提携を強化

中国での合併会社設立について①

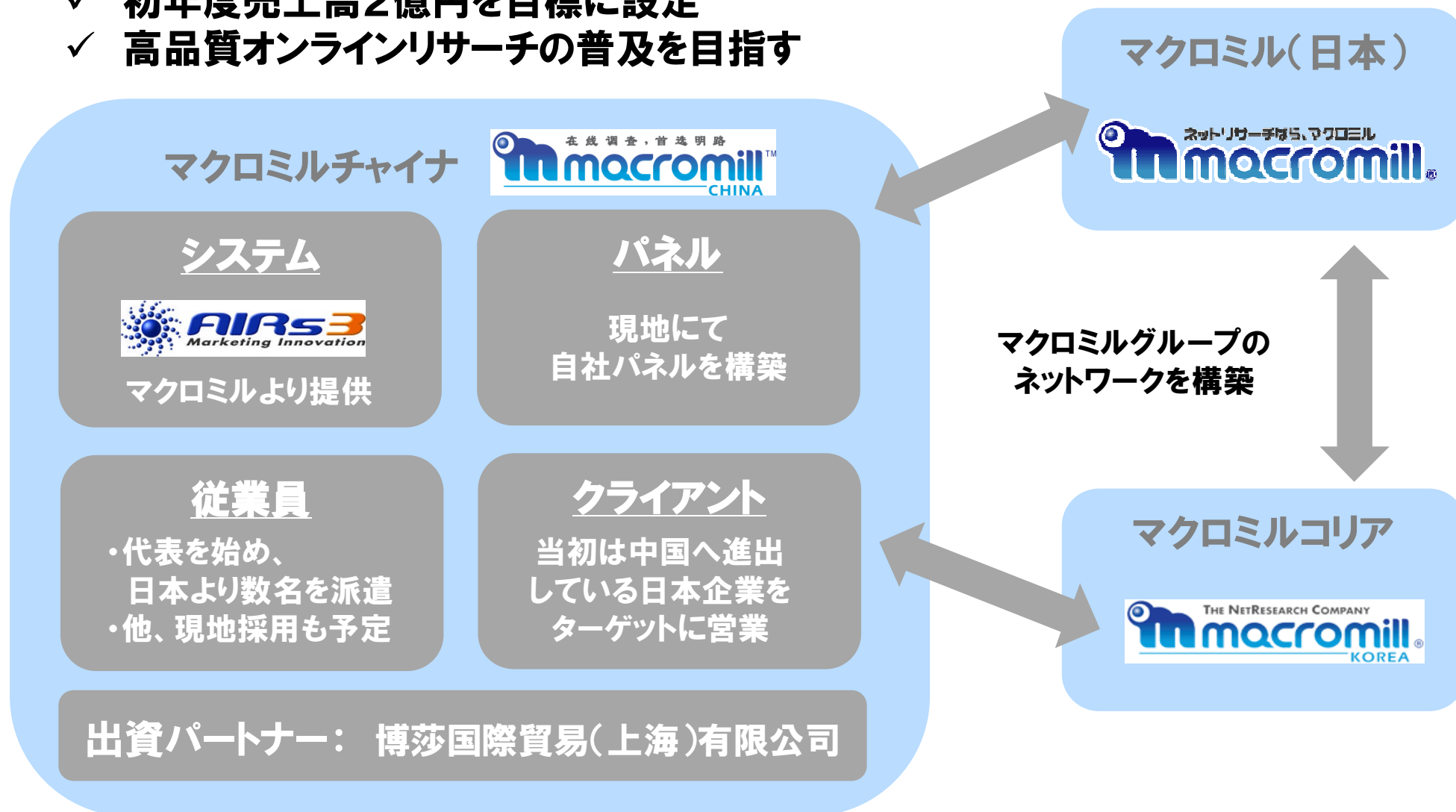
「中国における合併会社設立のお知らせ」（2011年1月14日発表）

- | | |
|--------------|--|
| 1. 名称 | 明路市場調査(上海)有限公司
(英文名称:MACROMILL China, INC.) |
| 2. 所在地 | 中国上海市黄浦区 |
| 3. 代表者の役職・氏名 | 董事長 福羽泰紀 |
| 4. 事業内容 | 市場調査 |
| 5. 資本金 | 1億5千万円 |
| 6. 設立時期 | 2011年3月(予定) |
| 7. 営業開始時期 | 2011年7月(予定) |
| 8. 出資者及び出資比率 | 株式会社マクロミル90%
博莎国際貿易(上海)有限公司10% |

- ✓ 日本企業の更なる中国進出や、中国リサーチ市場の拡大を見込み韓国に続き、中国への進出を決定
- ✓ マクロミルのノウハウやシステム(AIRs)を完全移行

中国での合併会社設立について②

- ✓ 初年度売上高2億円を目標に設定
- ✓ 高品質オンラインリサーチの普及を目指す



海外市場への進出について

海外展開モデル



NEW!

韓国・中国ともに、現地パートナーと
共同で会社を運営するハンズオン型

中国へは当初より社員を派遣し、
マクロミルの知見を最大限活用。

今後の施策(予定)

ライセンス型の海外展開
海外M&A

アジア市場(2008年)

単位:US\$m

	マーケティング リサーチ規模	成長率 (%)	ネットリサーチ シェア(%)
日本	1,643	3.9%	33%
中国	793	11.3%	11%
オーストラリア	727	7.6%	32%
韓国	425	16.6%	12%
インド	198	14.4%	0%

※参考

アメリカ	8,866	1.6%	21%
------	-------	------	-----

※ESOMAR 2009年レポート(最新)参照

アジア諸国の経済成長
日系企業の海外進出



ネットリサーチ市場拡大のチャンス

**日本最大最強
かつ
世界に類を見ないITマーケティング企業へ**



ご参考資料

(ご参考)会社沿革

2000年1月

株式会社マクロミル・ドット・コム設立

2000年8月

自動インターネットリサーチシステム (AIRs) 完成・営業開始

2001年3月

初の単月黒字化達成

2001年12月

株式会社マクロミルに商号変更

2002年6月

初の通期黒字化 (2002年6月期、売上高:3億円)

2003年3月

日経ベンチャー「ベンチャー・オブ・ザ・イヤー2002」未上場企業部門10位受賞

5月

システム (AIRs) を機能強化して全面刷新。集計ソフトQuick-CROSSの無料提供開始

2004年1月

東京証券取引所マザーズ上場

2月

営業全国展開 (大阪に関西支店開設)

4月

ネットリサーチ総合研究所設立

7月

モバイルリサーチ【MobileMill】サービス開始

9月

急成長率ランキング日本テクノロジーFast50で国内第5位受賞

2005年2月

海外調査パネルを管理するAIPと提携。海外調査【GlobalMill】サービス開始

2005年4月

東京証券取引所市場第一部へ市場変更

4月

ソネット・エムスリー(現:エムスリー)と提携。医療従事者対象リサーチ【M3Mill】サービス開始

7月

社団法人 日本経済団体連合会 加盟

2006年3月

自動インターネットリサーチシステム(AIRs)第三代目カットオーバー

2007年12月

東急エージェンシーと 携帯型バーコードスキャナを用いた商品購買調査QPR サービス開始

2008年 7月

MACROMILL Korea INC.(マクロミル・コリア)設立

2009年10月

ブランドデータバンク社 買収によるマーケティング・データベースサービスの拡充
マクロミルワープ社設立

2010年 8月

ヤフーバリューインサイト株式会社のマーケティングリサーチ事業を
吸収分割により承継

2011年 1月

株式会社エムキューブアンドアソシエイツ設立

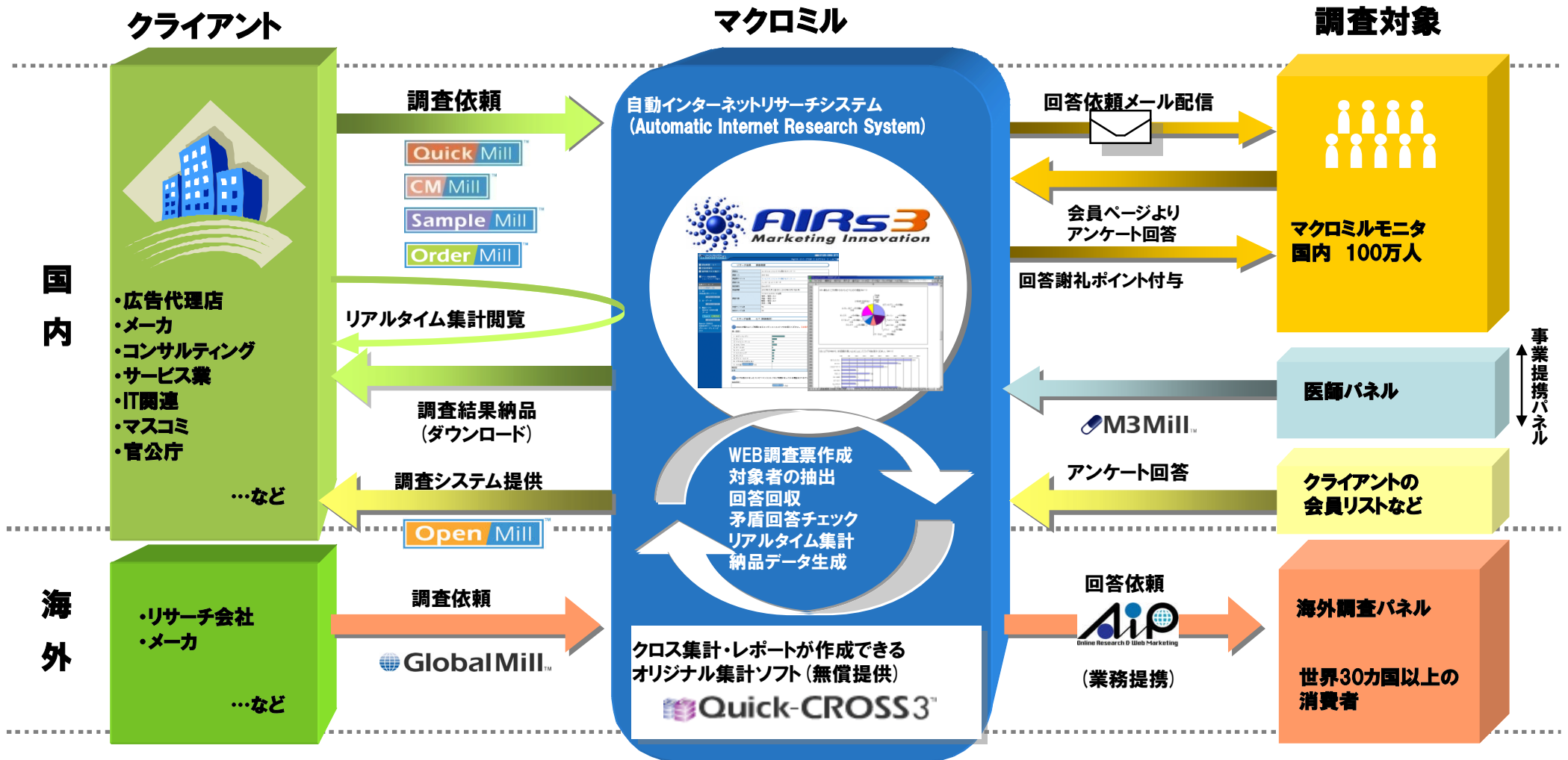
◆イメージキャラクターに菊川怜を起用

◆イメージキャラクターに原田知世を起用



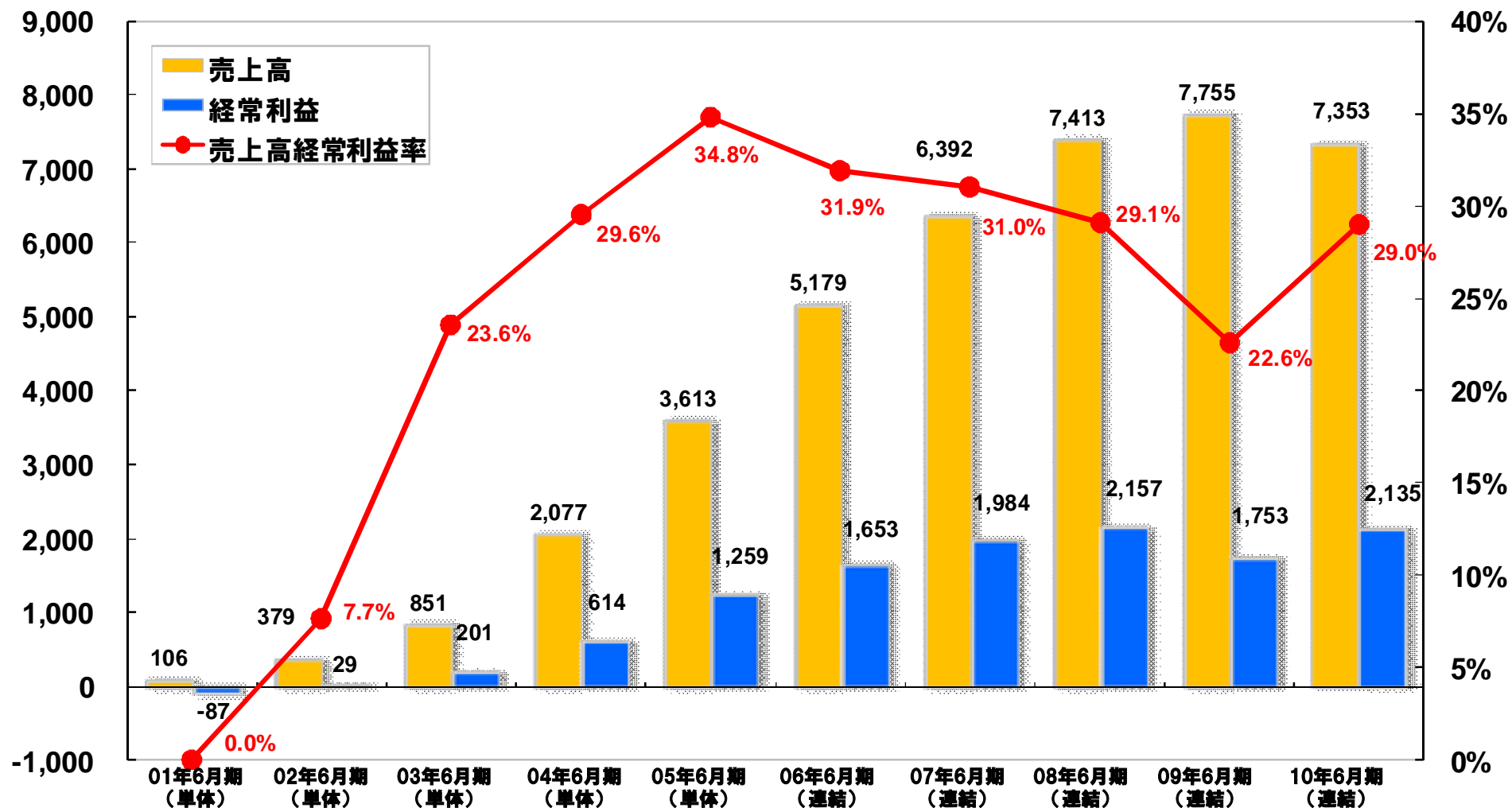
◆イメージキャラクターに栗城史多を起用

(ご参考)マクロミル事業概要 ネットリサーチのサービスフロー



(ご参考)業績推移 売上高・経常利益・経常利益率

(単位:百万円)



(ご参考)3力年の事業計画

(金額単位:百万円)

	2011年6月期(修正計画)		2012年6月期(計画)		2013年6月期(計画)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比

(単体)

売上高 (10%成長)	12,981	100%	13,700	100%	15,100	100%
経常利益	3,145	24.2%	3,100	23%	3,700	25%
当期純利益	1,661	12.8%	1,900	14%	2,200	15%

(連結) マクロミルコアは持分法適用のままの前提

売上高	12,992	100%	14,100	100%	15,700	100%
経常利益	3,039	23.4%	3,200	23%	3,900	25%
当期純利益	1,594	12.3%	1,900	13%	2,400	15%
海外売上比率					約3% ※	
連結EPS (円)	52.28		62.50		78.00	
時価総額 (PER20倍の前提)	337億円		380億円		480億円	

※マクロミルコアを連結子会社とした場合、連結売上高は170億円、海外売上比率10%となります。

※連結EPSは株式分割後の数値です。

本資料に関するご注意

本資料の内容は、現在入手可能な情報から当社の経営陣が判断したものであり、その内容の正確性を保証するものではありません。

様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。従いまして、将来の業績や結果につきましては、本日も説明する内容と異なる可能性があることをご了承ください。

－本資料に関するお問合せ先－

株式会社マクロミル 財務経理本部 IR担当

TEL: 03-6716-0706 FAX: 03-6716-0701

E-mail: ir@macromill.com